

社会福祉法人 真光会 各保育園の昨年度自己評価、およびそれにともなう今年度の園目標 (抜粋)

園評価の方法について

各園、令和2年度の各園の目標設定のために、①子どもの発達援助5項目、②健康管理食事6項目、③保育環境2項目、④保育内容11項目、⑤子育て支援5項目、⑥多様な子育てニーズ対応1項目、⑦地域の子育て支援2項目、⑧地域の住民や関係機関等の連携7項目、⑨実習・ボランティア2項目、⑩運営方針5項目について、全職員で3段階評価を実施。

そこで、下記のように、(1)令和元年度 当園の問題となった項目、(2)令和2年度/(3)令和3年度 当園としての努力していきたい項目を抽出して、各園の職員室に個人目標とともに掲示し、目標達成率向上に向けての行動基準を作成した。

	高木保育園	今町保育園	天竜保育園	梅北保育園
令和2年度の反省・改善目標	<p>園の評価基準(16)「子どもが自発的に活動できる環境」、(18)「さまざまな表現活動が自由に体験できる配慮」の項目に対して、評価が上がるようにいかに環境を整えて仕掛けを作っていくかを園目標とし努力していきたい。</p> <p>評価基準(17)「身近な自然や社会と関われる取組」の項目は、コロナ禍の中難しい一面もあるが、できることを模索し取り組んでいきたい。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・園児の主体性、保育の連続性については、職員間の連携が不可欠であり、必要なことをその都度話し合っていくことが保育にも反映された。職員一人一人が研鑽して深めている知識やアイデアを共有して、保育の幅を広げつつ、引き続きPDCAを常に意識して進め、園全体の保育の質の向上を図りたい。</li> <li>・前年度同様、各クラスで領域別指導計画を見直しながら保育を実践した。担当年齢については充実したが、年齢間の接続への意識に欠ける面があった。</li> <li>・「開かれた園づくり」はコロナ禍で、保護者のニーズに応えながらの行事の在り方や地域とのつながりなど、模索しながらの一年であった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・園目標のうち枠組み内での撮り組が中心となってしまう、今後は主体的な取り組みとなる用検討したい。</li> <li>・遠慮なく互いに伝え合える雰囲気づくりを心がけたい。</li> <li>・「園内研修や検討会のあり方」については、次年度より具体的に計画を立てて進めていく必要性を感じている。</li> <li>・コロナ禍の中でも、視点を変えることで行事のあり方について改めて考える機会となった。</li> <li>・研修会については少しでも参加可能となるよう工夫していきたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・未満児は年間を通して落ち着いた雰囲気の中で話を聞くことが身につけていった。今後も継続していきたい。以上児は個人差があるが、話を聞くという基本的な部分は少しずつ身につけていると感じる。いろいろな話を聞く機会を多く設けていきたい。</li> <li>・今年度は研修等少なかったが、本や保育雑誌から学ぶことに再度目を向けていくこともでき、保育の奥の深さや園児との関わり方を改めて見つめ直す機会となった。</li> <li>・ぼかぼかタイムは、年間計画を立てたことで幅広く工夫でき、園児も理解しやすかった。</li> <li>・ウィズデーでは園児同士の関わりも引き出すことができ、主体性を伸ばすことができた。</li> </ul>
令和3年度園目標についての評価	<p>昨年より自発的に体験や活動ができる環境整備ということで、園児が自発的に遊び込める体験の「わくわくの日」を継続した。継続することでやってみたい遊びを見つけ楽しむ姿が見られるようになった。異年齢の園児と取り組むことで刺激を受け、真似たり一つの遊びをじっくり遊んだりするようになった。</p> <p>物的環境については、事前に保育教諭等間で意見交換しながら園児の姿から必要な物を用意し取り組むことができ成長も感じることができた。しかし園児に対しての関わり方や接し方などの人的環境が重要な場面になっても対応しきれないこともあり、保育教諭等の人的環境の大切さを感じた。</p>	<p>乳幼児期の主体性とは何か、どのようにすれば育めるのか、年齢別に環境や援助の在り方の研究と実践に取り組んだ。</p> <p>乳幼児の主体性に対して一貫性のある関わりや環境構成となるよう、保育教諭等の連携(コミュニケーション)を図ることを心掛けたが不十分なところもあり課題となった。</p> <p>また「開かれた園づくり」はコロナ禍による制限がありつつも、ここ数年で深めてこられた。ある程度園としては達成できていると評価できたので、取り組みは継続するが、次年度は園目標としては掲げないこととする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・園目標を掲示することで日々意識できるようにした。</li> <li>・フリーデーの取り組みにより自由保育を見直す機会になったが、事前準備を整え過ぎたことで園児の主体性を十分引き出すに至らなかった。</li> <li>・「アクティブラーニング」を模索しながら取り組んできた。保育教諭等が自らがいかに自分の事として考え、自己評価を基にそれぞれが力を発揮できる職場環境を整えていきたい。</li> <li>・研修についてはweb研修が主であり、必要に応じて報告会の場を設けることで共通理解を図りキャリアアップ等の資質向上につなげていった。</li> <li>・「みんなのアイデア箱」の年3回設置により様々な課題や意見があがった。意見を発言することや意思疎通の場になるなど有意義な機会となり園内研修の充実を図ることができた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・未満児は興味や関心が持てる絵本を選び、発語に繋がったと思う。合同礼拝では雰囲気慣れることを大切に落ち着いた参加できるようにしていった。以上児は合同礼拝等を継続していったことで落ち着いて話を聞いたり、自分なりの言葉で発言したりする姿が多く見られるようになってきた。</li> <li>・本年度もオンライン研修と研修報告を通して資質向上につながったと思う。</li> <li>・ウィズデーはコロナの流行状況もあって異年齢交流の実施が難しい時があったが、密にならないよう工夫して継続できた。ぼかぼかタイムでは園児参加型で「まことの保育」を基に内容や進め方を検討して取り組んだ。</li> </ul>
令和4年度園目標	<p>園児の思いに寄り添った保育を目指して</p> <p>～保育教諭等との関わりを通して情緒の安定を図り、豊かなこころや生きぬく力等を育む～</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自己肯定感・自主性・自発性・意欲を持たせるために意識した環境構成(人的・物的)を考え、保育する。</li> <li>・全体での取り組み</li> <li>わくわくの日(自発的に遊びを見つかけ、じっくりと遊び込む活動)</li> <li>えがおの日(異年齢の園児交流)(わらべうた遊び・運動遊び・感覚遊び)</li> </ul>	<p>園児の主体性、保育者の主体性(共主体)の保育を考えよう</p> <p>～やってみよう!が溢れ出す今町保育園～</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分で見つける、自分で決める(園児を信頼し、見守る保育)</li> <li>・年齢発達に合った保育計画と、連続性のある保育実践</li> <li>・提案力のある保育者(どうしたらいいですか?→こう考えましたがどうですか?)</li> </ul>	<p>主体的・対話的・深い学び</p> <p>～園児自身が考えて遊びを展開したり、遊び込んだりできる環境づくり～</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・天竜保育園の取り組み19項目を常に意識して実践する。</li> <li>・昨年に引き続き「アクティブラーニング」を各々が意識し、園児と共に保育教諭も主体性を持ち、楽しめる保育を目指した取り組みを継続する。</li> <li>・「慎もう三つの言葉掛け」を共通目標とし、互いに意識し合える職場環境づくりをする。</li> <li>・「今までと同じだから」「これが当たり前」という姿勢ではなく、互いに「発想の転換」を心掛ける。</li> </ul>	<p>豊かな環境の中、いのち、こころ、生きる力を育もう</p> <p>～一人一人を尊重した真の保育を実践し道徳性や豊かな感性を育む～</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・さまざまな仏教童話を伝えて、豊かな心情を持てるようにする</li> <li>・進んで挨拶や返事をしようとする態度を育てる</li> <li>・園児のしたいことが実現できる環境構成に努め、コーナー遊びを充実させる</li> </ul>